



DX戦略

当社では、「VISION 2030」と称し、2030年を見据えた中期経営課題（既存事業の強化、経営基盤の強化、新規事業の推進）を設定し、今後の実現に向けて着実に実行に移していきます。具体的には、IT技術を活用し、全社の業務の集約化・効率化を通じて、保安品質のさらなる向上と労働生産性の向上を同時に実現してまいります。また、ステークホルダーへの新しい付加価値サービスの提供など新たな分野にも挑戦していきます。私たちは、エネルギーを通じてお客様の暮らしを支えてきた経験と知識を活かし、これからも保安を追求したサービスの提供を行うとともにステークホルダーの皆さんに貢献してまいります。

2026年4月1日
株式会社ガスパル 代表取締役社長

黒澤秀起

激動する社会情勢に伴い、当社を取り巻く環境も劇的に変化をしていると認識しています。当社は、長期的な成長による持続可能な企業を目指すため、デジタルサービスを通じて、顧客満足度の向上、コスト削減、働き方改革、及び新たなビジネスモデルの創出など、多方面でDX推進を行います。

人

エネルギー選択枝の拡張

■ LPガス離れがなだらかに進行



オール電化



都市ガス
供給拡大



■ 利便性を含めたニーズが高まりつつある



小売自由化



多様な生活

社会

需要縮小と規制強化/不変的な社会機能

■ 供給困難地域が拡大する見込み



価格高騰



需要推移



■ 災害に強く重要なエネルギーであり続ける



有事対応



安全の提供

環境変化

企業

競合の事業多角化/価格競争の激化

■ 競争激化の予兆を受け戦略を模索



海外展開



水素
エネルギー



■ 脱炭素化・グリーンLPガスの開発



プロパ
ネーション



バイオ
LPガス

技術

技術の普及とデジタル化の促進

■ 官民が連携し、スマート保安を推進



遠隔監視



デジタル
活用



■ IoT・AI等の新技術の浸透



自動運転



生成AI

当社は、事業戦略と連動したDX戦略を掲げ、中期経営課題「VISION2030」の実現に向け、様々な取り組みを実行しています。当社の3つのDX戦略で、中期経営課題を確実に、迅速に推進します。



VISION2030

DX戦略

戦略1

労働生産性 の向上

基幹システム刷新 / 車両オフィス化
&Crew



戦略2

保安業務 の高度化

データ活用 / RPA活用
&Industry



戦略3

顧客サービス 品質の向上

デジタルマーケティング / 新規事業創出
&Customer



※写真はすべてイメージです

戦略I

労働生産性の向上

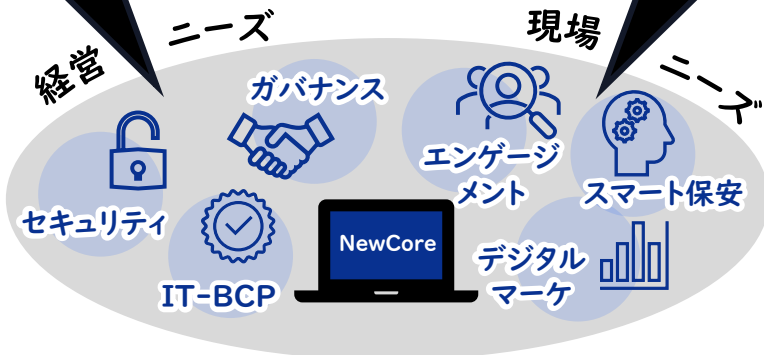
基幹システムの刷新

改革

ビジネス・組織
の変革

改善

業務プロセス
の改善



抜本的な業務の再設計・再構築

全社の労働生産性の向上を目指し、2024年4月から本社横断型プロジェクトを始動。

車両のオフィス化

働く場所の柔軟化



九州先行導入



社有車での業務遂行を可能に



デジタル
デバイス



社内ルール変更



業務効率

UP

保安の
品質

UP

働き
やすさ

UP

保安の土台形成

2023年12月より九州一部地域にてPoCを実施。
2024年12月より九州全域へ拡大予定。

戦略2

保安業務の高度化

データ活用による安心・安全の提供

・点検データ ・お客さまデータ ・設備データ
・アクセスログ ・マーケティングデータ



保安全管理システム

データ分析
データ活用



故障予知



マネジメント



配送計画



アラート

保安品質の向上・均一化

基幹システムの刷新にて、当社の要である保安情報をDWHに保管し、様々な保安業務の高度化に活用予定。

RPAを活用した人的ミスの撲滅

保安点検



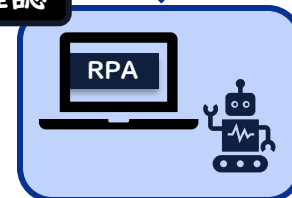
今まで

現在

点検結果の確認



目検による確認



RPAによる確認

確認ミスの低減 正確性の向上

2024年1月より点検結果確認業務をRPA化を実施。
本社バックオフィス部門へも展開中。

戦略3

顧客サービス品質の向上

お客様接点強化

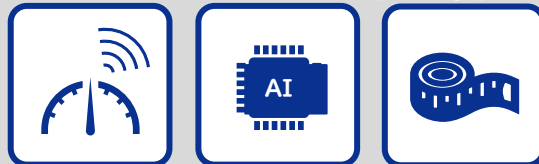


顧客体験の向上

2023年10月より九州地域5販売所で公式LINEを導入。2025年1月より、九州全域に拡大予定。

新規事業創出

スマートメータ AIチップ アシッドテープ



アクセラレータープログラム

デジタル技術を活かした新規事業の創出を目指し、海外スタートアップ企業とプランニング中。

大東建託
DX推進部

ガスパル
DX推進室



新規事業

グループシナジー

大東建託グループシナジーを活用した新規事業の創出。

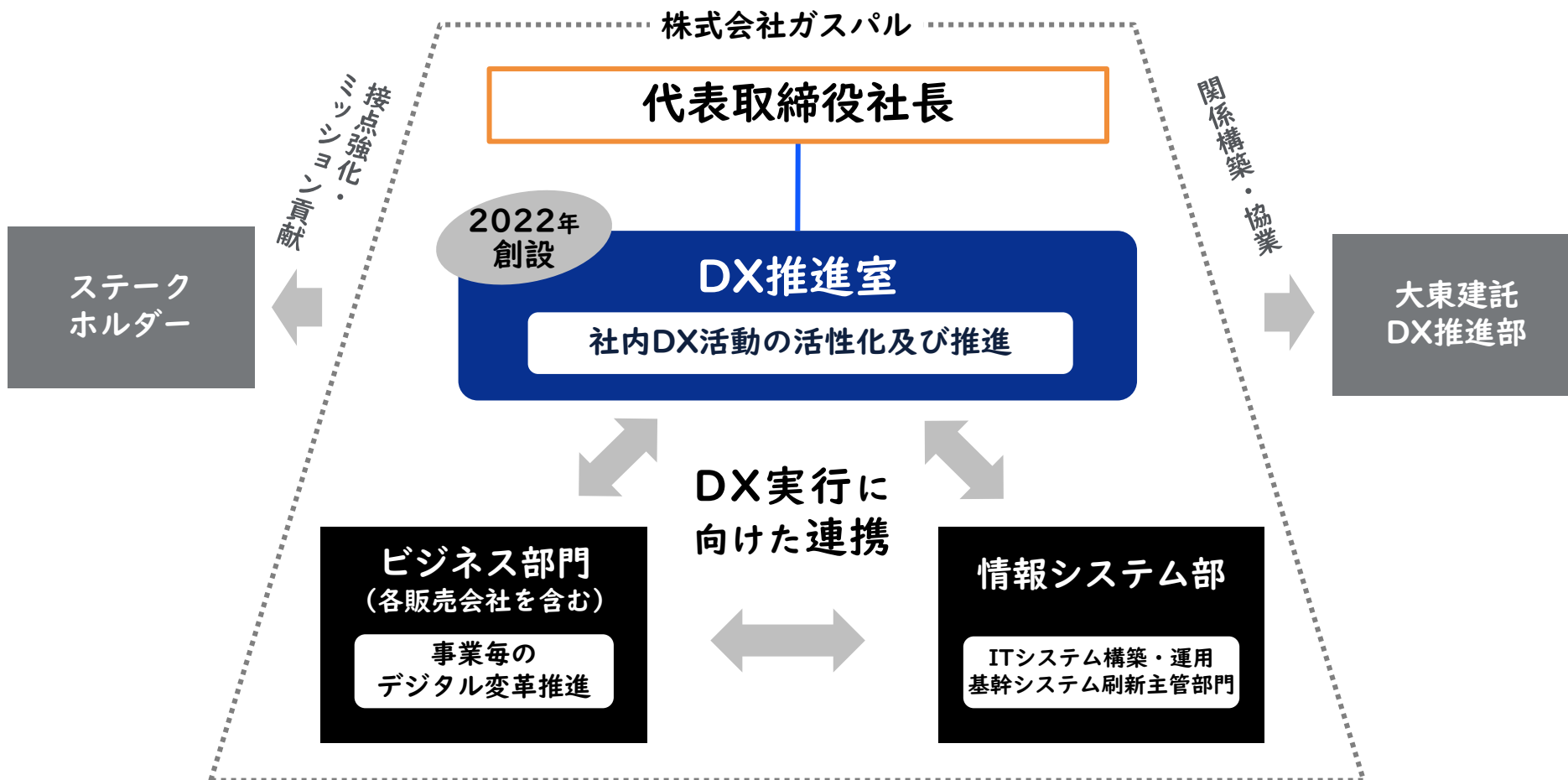
ビッグデータの活用



ガス利用者還元施策

ガス使用量等のデータ分析・解析から、ガスご利用者様へ高付加価値のあるサービス展開を図る。

当社は、DXを主導する専門組織（DX推進室）を中心に、社員の意識変革と人材の育成を行いながら、DX戦略を実行しています。



「DX戦略」の確実な実現に向けて、【人材】・【設備】の両面において環境整備を実施しています。

【人材】

社内外のDX研修を実施し、従業員がデジタル技術を理解し、デジタル技術の活用ができる人材を育成・確保



取り組み

デジタル変革意識の醸成

- 社内SNSを活用し、最新技術の動向やデジタル技術活用事例の紹介（DXチャンネル）
- ITベンダーなどの協力による最新技術に関する勉強会や外部有識者の講演会

デジタル活用事例の参加と対話

- DXを推進する社外企業の活用事例を社員自らが体験レポートし、全従業員へ共有

DX推進人材の育成・確保

【設備】

DX戦略

方 策

労働生産性の向上

- 「基幹システム」の刷新
- デジタルデバイスを搭載した社有車

保安業務の高度化

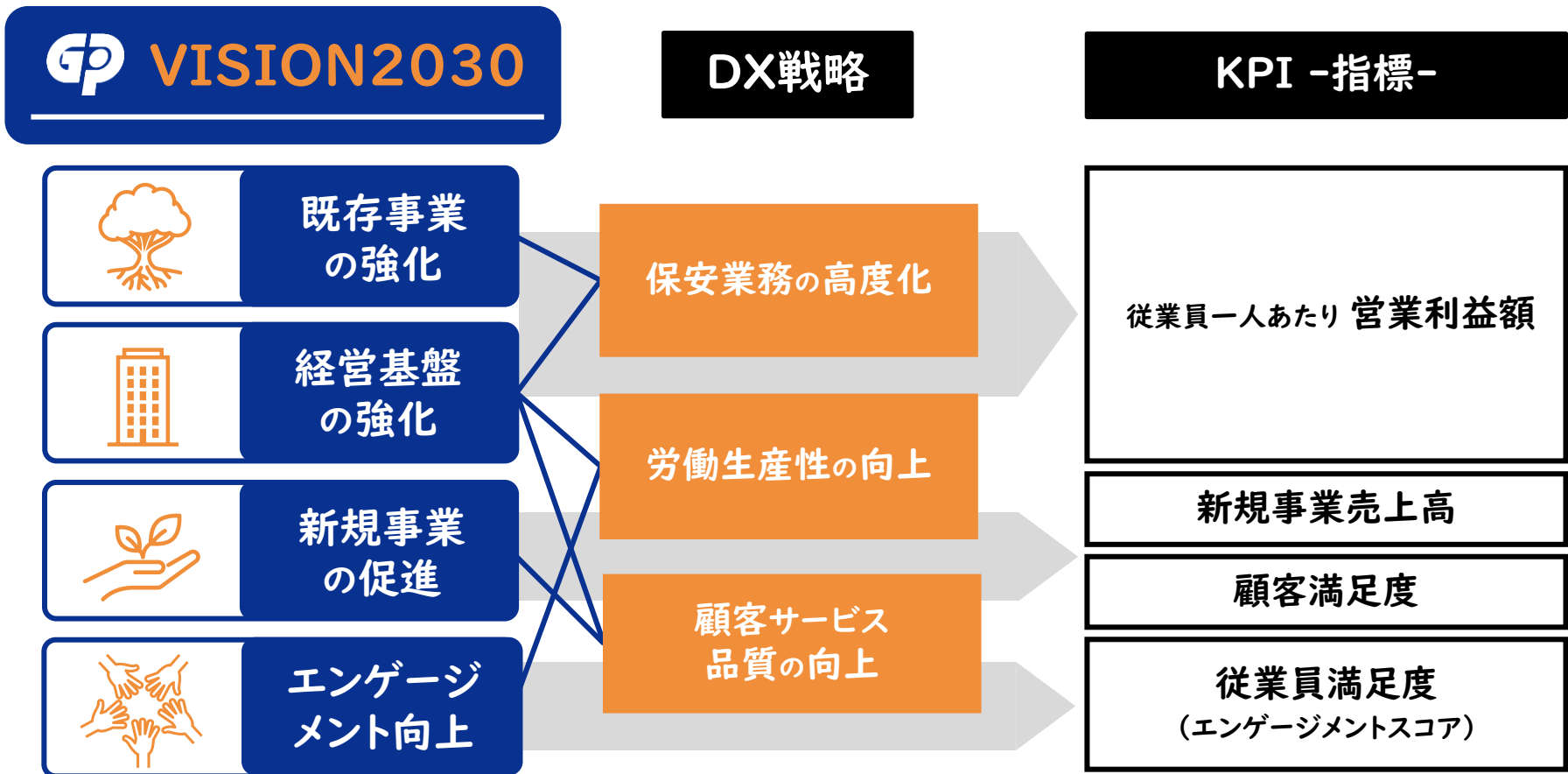
- 「基幹システム」の刷新
- RPAの導入

顧客サービス品質の向上

- ソーシャル・ネットワーキング・サービスの導入
- 「基幹システム」の刷新

DX戦略の達成状況に係る指標

「DX戦略」実現により持続的な成長を果たし、ステークホルダーへ貢献し続けるために「VISION2030」における達成目標を「DX戦略」のKPIに設定しています。



參考資料



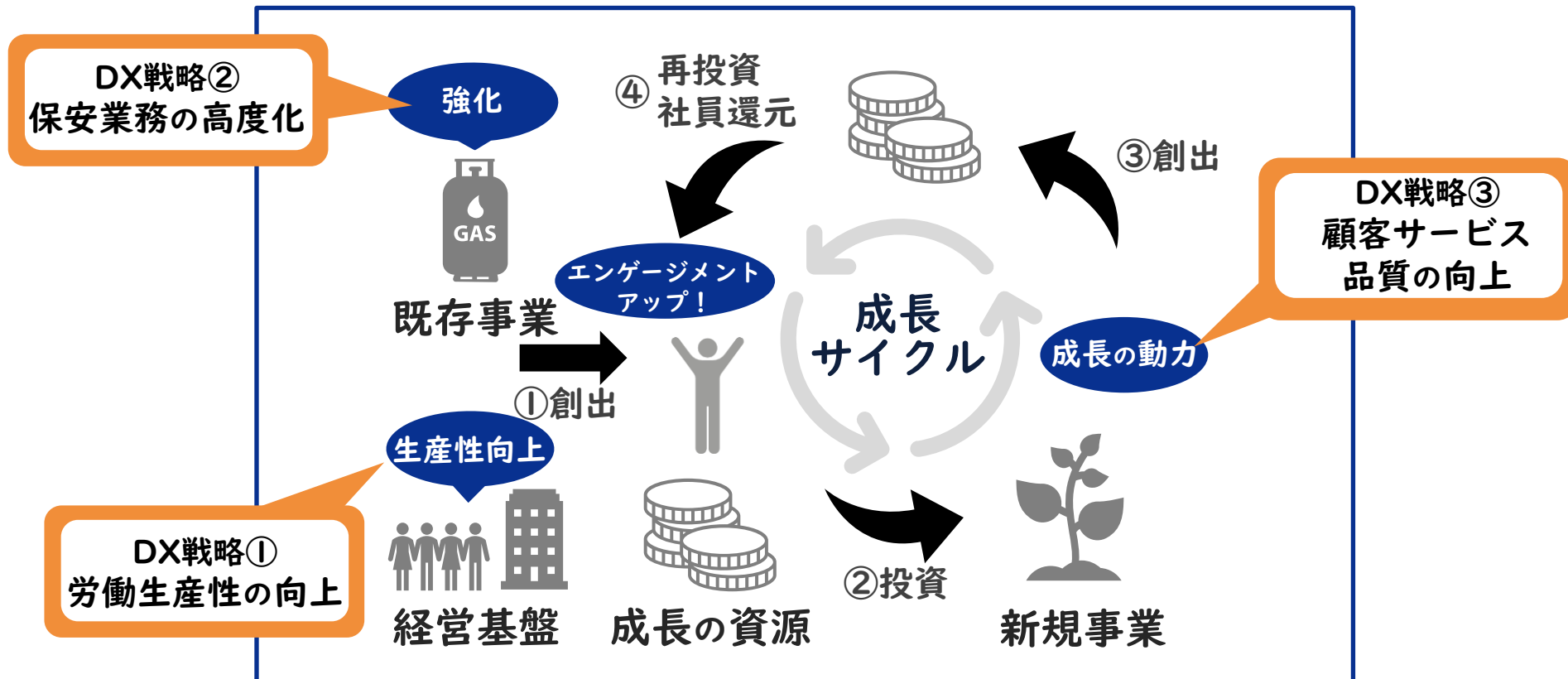
APPENDIX



DX推進と成長サイクルの関係性

DX推進及び実行により「VISION2030」で定義する「成長サイクル」をより加速させ、事業収益化を成長サイクルに乗せることにも貢献します。

2030年度までの成長サイクルのイメージ



当社のミッション【「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業として、豊かな社会の実現に貢献する】
「VISION2030」の達成により、ミッション（社会貢献）実現に前進することを社内公開しています。
(2024年4月)

ビジョン1

Vision 1
保安ナンバーワン
保安ナンバーワン企業に向けて
目指すべき姿

1. 新しい業界のスタンダード実現
2. お客様から選ばれるエネルギー企業



ビジョン2

Vision 2
働きがい
=働きやすさ
+やりがい

引用: Great Place to Work Institute Japan